



贈呈理由

モジュール型ヒートポンプと氷蓄熱システムの有効活用により、優れた経済性・環境性を実現



テラスモール松戸



氷蓄熱



セントラル

「豊かに・楽しむ・毎日の暮らし」がコンセプトの地域最大級の商業施設

住友商事グループは、「豊かなまちづくりへの貢献」を開発理念とした「まちづくり型商業開発」により、その場所その場所に適した施設をオーダーメイドで開発していく「地域メイド」の商業施設開発を進めている。

本施設は、豊かなベッドタウンとして発展してきた松戸エリアの暮らしを支えてきた松戸北部市場の跡地を開発、同グループを代表する施設である「テラスモール」シリーズの第2号案件として、「豊かに・楽しむ・毎日の暮らし」をコンセプトに、地域最大級の商業施設を開業した。

市場だった歴史を想起させる施設づくり、地元大学との産学連携の取り組み、地域名店の出店など、人々が行き交うまち松戸にふさわしいサードプレイスを目指している。

環境性と経済性の両立を図ったエネルギーシステムを実現

環境面においては、LED照明や電気自動車利用の来客者のための充電スタンドといった環境技術の導入にも積極的に取り組んでおり、エネルギーを多く消費する空調用熱源には、最新式の高効率の空冷モジュールチラーとエコアイス(氷蓄熱システム)を採用。

高効率の空冷モジュールチラーは、シンプルな機器構成に加え、低外気温時や部分負荷時の冷房効率が優れており、年間システム効率を高めることが可能。またエコアイスでは、割安な蓄熱料金の活用やデマンド電力の削減で電気料金の削減を図っており、これらによって環境性と経済性の両立を図ったエネルギーシステムを実現している。

テラスモール松戸は、豊かな自然との調和を感じ、楽しみながらの毎日の

暮らしを育む。松戸での暮らしを誇りに感じられ、集う人と人を緩やかに結びつける、松戸のシンボリックな生活交流拠点として期待されている。

一次エネルギー消費量削減効果

従来システム	冷温水発生機 一次エネルギー消費量:34,006.72GJ
採用システム	空冷ヒートポンプチラー(氷蓄熱) 一次エネルギー消費量:18,513.43GJ



(諸元)同一空調負荷条件による年間シミュレーション比較
一次エネルギー換算値
※電気(全日)9.76MJ/kWh ※都市ガス45MJ/Nm³
※「エネルギーの使用の合理化に関する法律施行規則」

テラスモール松戸

所在地	千葉県松戸市八ヶ崎2-8-1
建設設計	清水建設(株)
建築施工	清水建設(株)
設備設計	清水建設(株)
設備施工	清水建設(株)
エネルギーサービス事業者	日本ファシリティ・ソリューション(株)
延床面積	102,479m ²
竣工	2019年新設
URL	https://terracemall.com/matsudo/

■設備概要

空冷式ヒートポンプチラー
82kW×22台[ダイキン工業]
蓄熱槽317m³(スタティック)

